

2025 年 4 月/9 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答えは二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. 試験開始の合図後、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					4			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に**最大 1000 字程度**（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。鉛筆書きは不可。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。
12. 解答は必ず 1 問につき 1 枚の解答用紙を使用すること

以 上

2025 年 4 月/9 月 大学院商学研究科

修士課程入学試験問題 専門科目

【設問 1】 経営専修 経営領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. カリスマ的リーダーシップについて定義をした上で、それを備えた経営者が企業の持続的競争優位の源泉となりうる理由を、資源ベースモデルに基づき説明せよ。
2. 従業員に広く共有された組織文化を「強い文化」と呼ぶが、他企業との競争において、「強い文化」が企業に経済的価値を創出するメカニズムを説明せよ。また、その関係性を弱くする要因をひとつ挙げたうえで、その理由を説明せよ。
3. 企業の戦略上の意思決定を行うチームとしてトップマネジメントチームがあるが、個人属性で同質的なトップマネジメントチームは、多様性を有するトップマネジメントチームと比較して、企業間競争においてどのような長所と短所が存在するか。ひとつずつ説明せよ。

【設問 2】 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の全ての設問に答えなさい。

- (1) 製品ライフサイクルという概念を簡潔に説明し、各段階において採るべきマーケティング戦略の特徴を整理しなさい。
- (2) 流通システムにおいて中間流通としての卸売業者が存在する理由について、「取引数最小化の原理」を用いて説明しなさい。
- (3) ブランド拡張の利点と欠点について、事例と関連付けながら考察しなさい。

【設問3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

ダニングのOLIパラダイムを説明せよ。所有の優位、立地的優位、と内部化優位の意味の定義を示し、これらが企業の海外進出の決定にどのように影響するかを説明せよ。

【設問4】 金融・保険専修 金融領域

以下のすべての設問に答えなさい。計算する場合は単に解答だけでなく、その過程も書くこと。また、質問中に出てくる専門用語はその理解を示すために解答する際には適切な説明を与えること。

1. 現在 ($t = 0$) と将来 ($t = 1$) の一期間モデルを考える。将来の経済状態は好況と不況の二状態である。二つの株式 A と B が取引されている。株式 A は好況時の収益が 4 円で不況時の収益が 2 円である。また、その価格は 2.4 円である。株式 B は好況時の収益が 1 円で不況時の収益が 3 円である。また、その価格は 2.1 円である。この設定のもと、以下の設問に答えなさい。

(1) 好況と不況のそれぞれの Arrow-Debreu 証券の価格を求めなさい。

(2) 安全利子率を求めなさい。ただし、小数点第二位で四捨五入すること。

2. 現時点で 1 億円の投資をすれば、1 年後に 1.1 億円の利益になる事業があるとする。安全利子率が 5%、市場収益率 (市場リスクプレミアム) が 15% とする。この設定のもと、以下の設問に答えなさい。

(1) この事業を行う企業のベータを 2 とした場合、CAPM に基づいて株式資本コストを求めなさい。

(2) 負債比率が 50% とする。この場合の WACC を求めなさい。また、IRR 法に基づいて、この事業を行うべきか答えなさい。企業のデフォルトは無視して、負債資本コストを安全利子率として計算してよい。

【設問 5】 金融・保険専修 保険領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. リスク対応の手段は、リスク・コントロールとリスク・ファイナンスに大別される。前者は、リスクの回避または低減を、後者は、リスクの移転または保有をそれぞれ含む。リスクの性質を、その発生頻度の高低と、損失強度の大小によって、4つに区分したとき、回避、低減、移転、保有が、各区分にどのように適合するかを示せ。

2. 保険類似制度のうち、貯蓄、賭博および共済について、それぞれ保険との類似点及び相違点を整理して述べよ。

3. 代表的な民間保険である、自動車保険、火災保険、医療保険、養老保険のうち、一つを任意に選び、その概要および加入の意義を述べよ。

【設問 6】 会計専修 財務会計領域

以下の問いのすべてに答えなさい。

(1) 財務会計の利害調整機能について説明しなさい。

(2) 「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて、下記の①と②に答えなさい。

＜第 1 期首に購入した建物に関する資料＞

- ・取得原価は 1,000,000 円で、耐用年数 4 年、残存価額 0 円、定額法で減価償却する。
- ・第 2 期末での予想キャッシュ・フローとその現在価値（割引率 5%）は以下のとおりである。

	第3期	第4期
予想キャッシュ・フロー	220,000 円	200,000 円
第 2 期末時点の現在価値	209,524 円	181,406 円

- ・第 2 期末時点での正味売却価額は 270,000 円である。

- ① 第 2 期末において減損損失を認識すべきか否か。根拠を示して説明しなさい。
- ② 第 2 期末において減損損失を認識する場合の仕訳を示しなさい。なお、減損損失を認識する必要がない場合には「仕訳なし」と答えなさい。

(3) 会計上の保守主義に関する以下の問いに答えなさい。

- ① 会計上の保守主義とは何か、説明しなさい。
- ② 企業はなぜ保守的な会計を行うか、説明しなさい。なお、複数の理由が考えられる場合にはすべてについて説明すること。

〔設問 7〕 会計専修 管理会計領域

キャッシュ・フローに関する問1～問3のすべてについて、順に解答しなさい。

- (問1) 短期のキャッシュ・フロー・マネジメントのための指標であるキャッシュ・コンバージョン・サイクル(CCC)について、①指標の計算式、②企業にとって望ましい CCC の状態(短期のキャッシュ・フロー・マネジメントの観点のみから導かれる結論でかまわない)、③その状態が望ましいとされる理由、をそれぞれ説明しなさい。
- (問2) 長期のキャッシュ・フロー・マネジメントの観点からは、手元資金を最小限とし、収益を生むプロジェクトへの投資を推奨することが一般的である。そのため、日本企業に対し、手元資金を必要以上に所有しているという指摘がなされることもある。これについて、日本企業の手元資金の保有量を合理的と考えるか非合理的と考えるか、理由を付して論じなさい。企業の条件(たとえば、業種、成長性、収益性など)によって合理的である場合と非合理的である場合があるのであれば、条件を明記したうえで、分けて論じること。
- (問3) キャッシュ・フロー計算書において以下の①～③の特徴を持つ企業がどのような経営状態にあるのかそれぞれ説明しなさい。
- ① 営業 CF がプラス、投資 CF がマイナス、財務CFがプラス
 - ② 営業 CF がマイナス、投資 CF がマイナス、財務CFがプラス
 - ③ 営業 CF がプラス、投資 CF がマイナス、財務CFがマイナス

【設問 8】 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下のすべての問いに答えよ。

ある財の P を価格、 Q を数量として、市場全体の需要を示す需要関数が $P = a - Q$ で示されており、この財を生産するための総費用 TC を示す総費用関数が $TC = cQ$ で示されているとしなさい。

問 1

完全競争市場において当該財の市場で実現される価格 $P1^*$ と数量 $Q1^*$ を求めなさい。

問 2

この財を独占的に供給している企業を想定した上で、当該財の市場全体で実現される価格 $P2^*$ と数量 $Q2^*$ を求めなさい。

問 3

この財について企業 i と企業 j の二社による寡占（複占）競争を想定した上で、当該財の市場全体で実現される価格 $P3^*$ と数量 $Q3^*$ を求めなさい。

問 4

$P1^*$ 、 $P2^*$ 、 $P3^*$ の大小関係及び $Q1^*$ 、 $Q2^*$ 、 $Q3^*$ の大小関係を議論しなさい。

問 5

上記の問 3 の設定で企業数が無限大に増えた場合に、実現される価格 $P4^*$ と数量 $Q4^*$ を求めた上で、 $P1^*$ 、 $P2^*$ 、 $P3^*$ 及び $Q1^*$ 、 $Q2^*$ 、 $Q3^*$ と比較しなさい。

〔設問 9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下のすべての問いに答えよ。

問 1

- ① 経済成長を対象としたソローモデルの基本形を数式、文章、図を用いて説明しなさい。説明に当たっては、コブ・ダグラス型の生産関数を仮定し、 Y を産出、 K を資本、 L を労働、 A を技術（効率性）の指標として用いること。貯蓄率は s 、人口成長率（ L の成長率）は g 、減耗率は δ と表記すること。 A は定率 μ で成長するものとする。
- ② 上記のソローモデルにおいて人口成長率が下落した場合を想定した上で、定常状態がどのように変化するかを説明しなさい。

問 2

以下の生産関数について規模に関して収穫一定を仮定する。 Y は産出、 K は資本、 L は労働、 A は生産性（労働の効率性）を示す。

$$Y = F(K, AL)$$

労働と資本がそれぞれ限界生産に応じて報酬を得ており、 w は $\partial F(K, AL) / \partial L$ を、 r は $\partial F(K, AL) / \partial K$ を表すものとする。

- ① 労働の限界生産物 w が $A[f(k) - kf'(k)]$ であることを示しなさい。ただし、 $y = Y/AL$, $k = K/AL$, $y = f(k) = F(k, 1)$ を示す。
- ② 収穫一定の仮定の下で、資本と労働がそれぞれ限界生産物に応じて報酬を受けている場合、生産要素に支払われている総額は総産出量に等しいこと（すなわち、 $wL + rK = F(K, AL)$ であること）を示しなさい。

—以上—

解答用紙

受験番号	
氏名	

[illegible]

受験番号	
氏名	

(問題番号)

[illegible]